

Title	編集後記
Sub Title	
Author	宮澤, 浩一 (Miyazawa, Koichi)
Publisher	慶應義塾大学法学部
Publication year	1983
Jtitle	慶應義塾創立一二五周年記念論文集：法学部一般教養関係 (1983. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Book
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=BN01735019-00000003-0423

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

一九五八年、慶應義塾創立一〇〇周年を記念して、法学部は、法律編・政治編・一般教養編の三冊からなる記念論文集を公刊した。当時の法学研究編集委員長 英修通 名誉教授が「後記」のなかで、「法学・政治学関係においては、現職者の七割余が執筆された」と指摘して居られる通り、慶應義塾法学部の総力をあげて取り組んだ一大事業であった。

此の良き伝統に従いながら、法学研究編集委員会は、学部のその後の二五年間の発展の姿をとどめることをも意図しつつ、創立一二五年記念論文集の編集を企画した。一九八一年秋に発起し、公刊までに二年の歳月をかけた。

ここに、慶應義塾大学法学部専任者、慶應法学会会員有志、さらに、塾法学部と関係の深い海外の研究者、併せて一三名から寄せられた論稿により、七冊、総計二、五〇〇頁余の論文集を公刊することは、誠に感慨深いものがある。なお、法学部専任者で、寄稿を予定されながら「法学研究」本誌の通常号に廻って下さった法学研究編集委員長高島正夫教授をはじめ多くの方々に感謝申しあげたい。

大学という学問共同体は、その構成員の交代を繰り返す

つ永続性を保持する。記念論文集に寄稿された執筆者のうち、最も若い諸君が、創立一五〇年記念号の編集の中心となるのは歴史的順序である。願わくば、それらの前途有為な研究者が、お互いに切磋琢磨し、俗事に気をとられず、片時といえども学問を怠ることなく精進を続け、内外の学界に貢献しうる論者をたえず送り続け、慶應義塾の学問の松明を高くかかげ、次なる世代へと立派に引き継ぐ使命をはたして欲しい。

本論文集を公刊するに当り、その企画にいち速く賛成され、推進役をはたされた前法学研究編集委員長内山正熊名誉教授と、この企画の実現に精神的支援を惜しまれなかった十時殿周法学部長に対し、深甚なる感謝を申しあげる。

また、慶應通信株式会社編集部の今井壮、野村正信、藤村信行、浅沼雅子の四氏には、此のように大部で、かつ多様な内容の論文集の編集・出版につき、多大の労苦を傾注され、見事にその仕事を達成された。心からの敬意を表する次第である。

一九八三年八月二六日

慶應義塾大学法学部

法学研究編集主任

宮澤浩一